

2024年9月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済は、個人消費・企業活動ともに弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2024年9月18日公表）において、「景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している」との判断が維持された。個別項目では、「倒産件数」において判断が引き上げられている。

以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に8月の値）に基づき報告する。

全国の情勢

- ① 需要動向に関して、「個人消費」、「設備投資」、「住宅建設」、「公共投資」のいずれについても判断が維持された。
- ② 企業活動に関して、「生産」「企業収益」「業況判断」「倒産件数」の判断は維持された。
- ③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。
- ④ 物価に関しては、「国内企業物価」が、「このところ上昇テンポが鈍化している」との表現に変更された。「消費者物価」については、「緩やかに上昇している」との表現が維持された。
- ⑤ 世界経済に関しては、「一部の地域において足踏みがみられるものの、持ち直している」との判断が維持された。ただし、地域・国別では、ヨーロッパ地域・ドイツについて景気判断が引き下げられた。

和歌山県の情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（8月）は、前年同月比2.3%増となり、2か月ぶりに前年を上回った。県内唯一の百貨店である近鉄百貨店和歌山店の販売額（8月）が前年同月比1.3%減であることから、スーパー販売額が大きく増加した模様。8月上旬の南海トラフ地震臨時情報に伴う防災意識の高まりから、水・食品等の備蓄需要が高まった。さらに、米不足を受けて、総菜やレンジ米飯、餅などで特需があったものと考えられる。このような動きはドラッグストアやホームセンターの販売額にも見られ、いずれも前年を大きく上回る販売額となった。

新車販売台数（軽自動車[乗用]含む、8月）は、前年同月比0.8%減となり、2か月ぶりに前年を下回った。大手自動車メーカーによる認証試験不正問題による出荷・生産停止の影響は緩和しているが、台風等の天候不良が販売店への客足に影響した可能性が考えられる。車種別では、登録車が前年同月比6.5%増で、7月に続き前年を上回る一方、軽乗用車は同10.5%減と2か月ぶりに前年を下回った。

新設住宅着工戸数（8月）は、前年同月比2.7%減となり、2か月連続で前年を下回った。1月～8月累計での着工戸数は前年同期比1.2%減となっている。「貸家」が同18.2%増となる一方で、「持家」、「分譲住宅」は減少した。資材価格の高騰や物価高の影響で住宅価格が上昇していることから、全国的に「持家」の着工戸数は低水準にある。

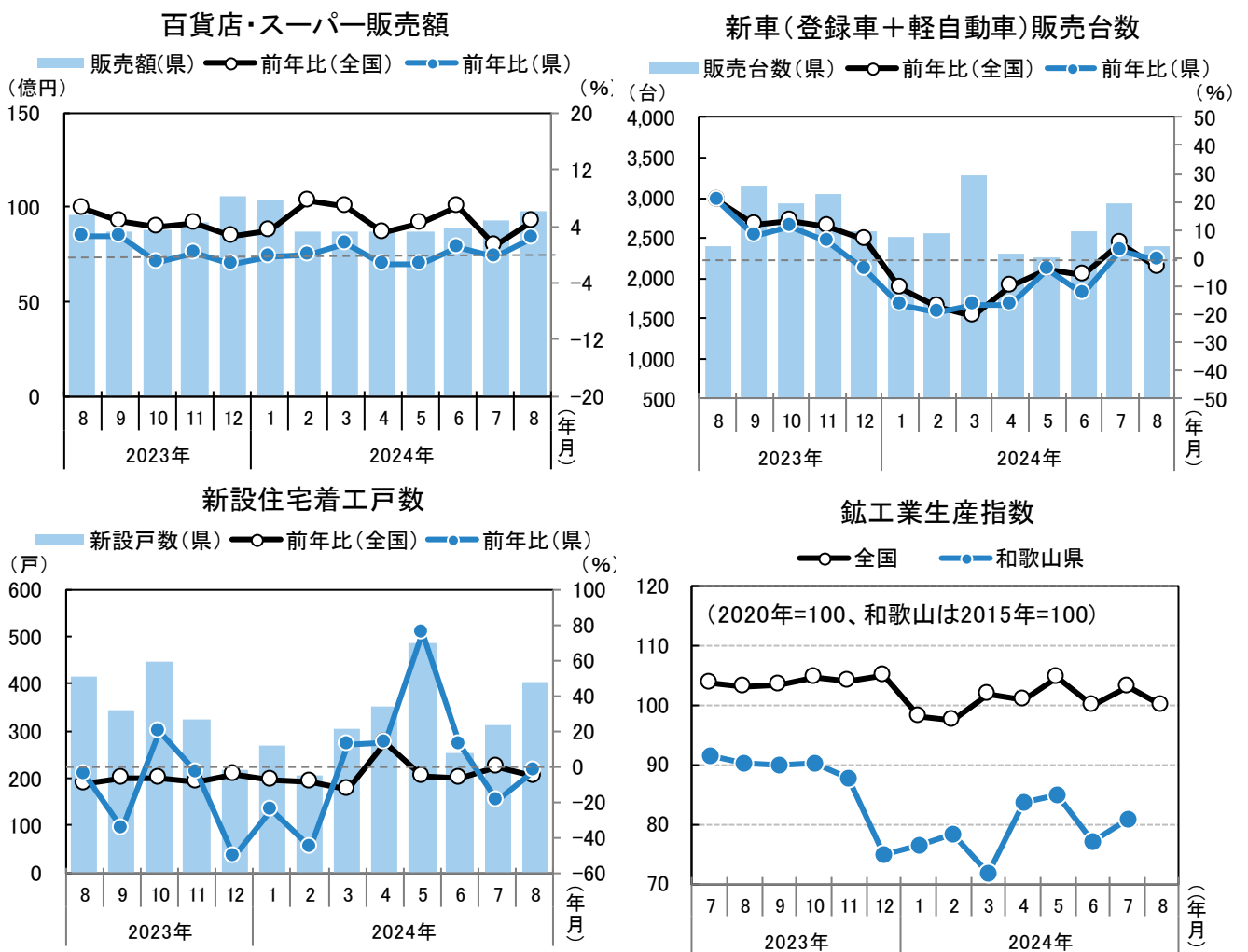
1月～8月累計の着工戸数を地域別に見ると、和歌山市、海南市、岩出市などで前年同期を上回る一方、橋本市、紀の川市、新宮市では大きく減少している。

② 企業活動面では、**鉱工業生産指数（7月）**は前月比4.0ポイントの上昇となった。2023年10月に県内製油所の精製機能が停止し、化学工業および石油・石炭製品工業の生産指数が大幅に下降。3月には13年以降の過去最低値を更新していた。その後は、合成洗剤などの化学工業、汎用機械工業で生産指数が上昇し、県全体の生産指数は改善傾向を示している。

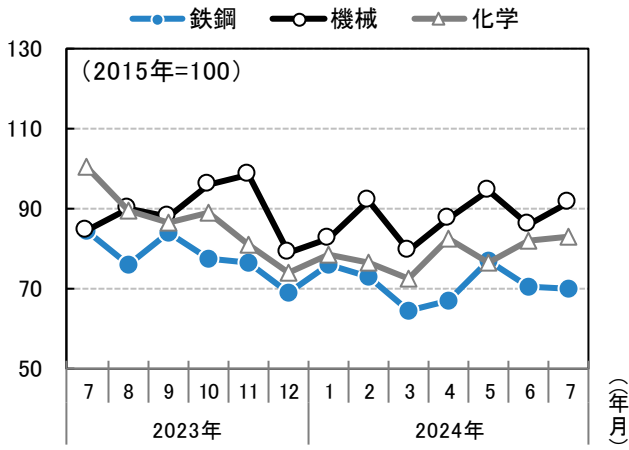
公共工事請負金額（8月）は、前年同月比37.2%増（増加は2か月連続）。この結果、4月～8月累計での請負金額は前年同期比5.1%増となっている。国ならびに県発注工事が増加した。地域別の請負金額では、橋本地区、岩出地区、和歌山地区、湯浅地区、串本地区など多くの地域で前年同期に比べて増加している。

帝国データバンクが発表している**県内 TDB 景気 DI（8月）**は前月から1.9ポイント上昇した。上昇は4か月ぶり。4か月連続で下降していた製造業の景気 DI が上昇に転じるとともに、卸売業の景気 DI が2か月連続で上昇した。その一方で、台風による天候不良、南海トラフ地震臨時情報に伴う行楽需要の減退などで、サービス業の景気 DI は約2年ぶりの低水準まで下降している。

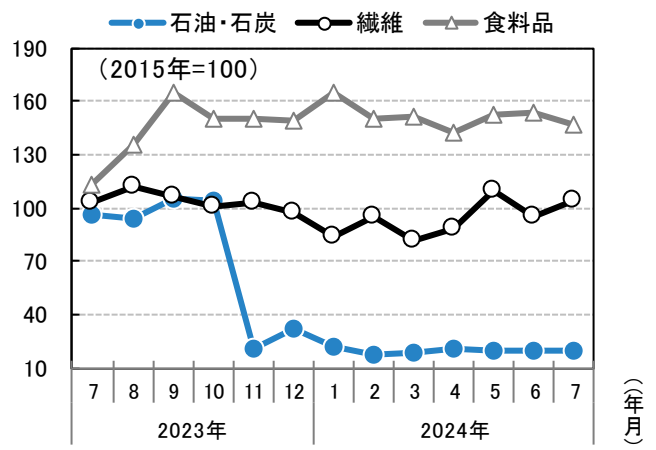
③ 雇用面については、**有効求人倍率（8月）**は、前月から0.01ポイント上昇し、1.14倍となった（上昇は2か月ぶり）。有効求職者数が3か月連続で減少する一方で、有効求人数は2か月ぶりに増加した。2021年後半以降、有効求人倍率は1.15倍近傍での推移が続いている。和歌山労働局は「緩やかに持ち直しの動きがみられるが、求人の一部に足踏み感がある」との判断を維持しており、「物価上昇等が雇用に与える影響に注意する必要がある」と指摘している。



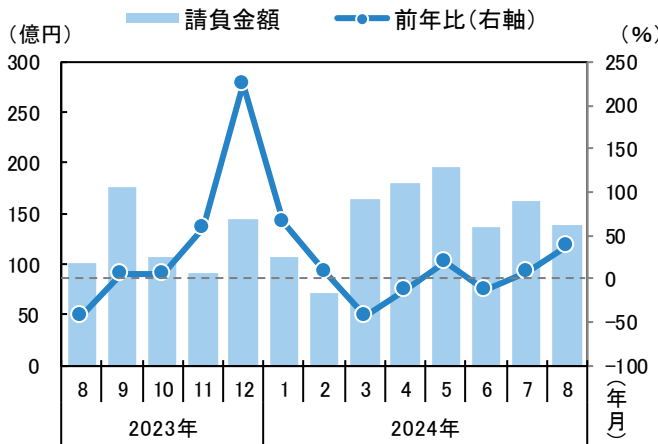
鉱工業生産指数(和歌山県)



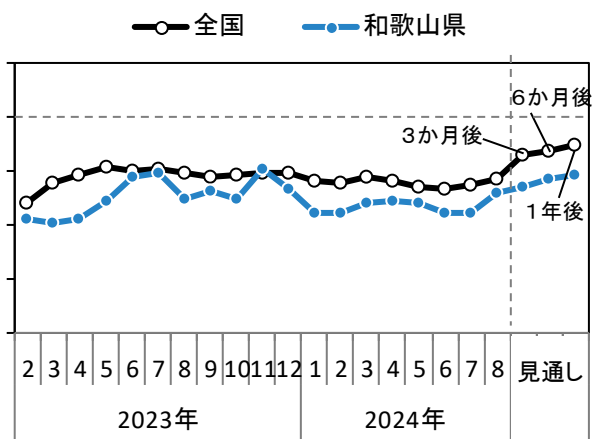
鉱工業生産指数(和歌山県)



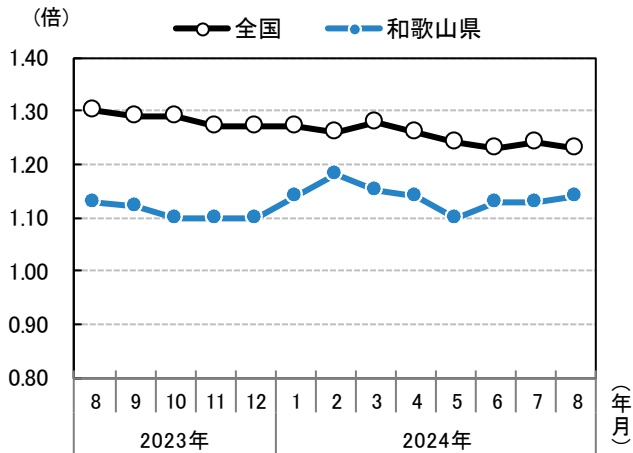
公共工事請負金額(和歌山県)



TDB景気DI(判断の分れ目は50)



有効求人倍率



(資料)株式会社データバンク

(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2018年	1,211	0.0	-2.1	38,949	0.2	0.7	4,935	-2.3	8.7
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2023年7月	93.4	5.9	2.7	2,866	11.7	12.7	390	-6.7	8.9
8月	96.1	6.5	2.6	2,410	20.2	20.4	415	-9.4	-4.8
9月	87.2	4.8	2.6	3,133	11.9	8.1	346	-6.8	-34.8
10月	88.5	4.0	-1.0	2,941	13.0	11.1	446	-6.3	19.9
11月	92.3	4.4	0.2	3,051	11.2	6.0	325	-8.5	-3.8
12月	106.2	2.6	-1.5	2,589	6.6	-4.0	218	-4.0	-50.9
2024年1月	104.1	3.3	-0.2	2,510	-10.9	-16.3	269	-7.5	-24.0
2月	86.7	7.6	0.0	2,566	-17.2	-19.4	205	-8.2	-45.8
3月	87.2	6.9	1.5	3,283	-20.5	-16.7	305	-12.8	12.5
4月	87.2	3.0	-1.3	2,301	-10.1	-16.4	354	13.9	13.5
5月	87.1	4.4	-1.5	2,256	-4.2	-4.0	488	-5.3	75.5
6月	89.4	6.9	1.1	2,590	-6.2	-12.9	253	-6.7	12.4
7月	93.0	1.3	-0.4	2,940	5.6	2.6	314	-0.2	-19.5
8月	98.3	4.7	2.3	2,390	-3.6	-0.8	404	-5.1	-2.7

(2024年10月1日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2015年=100) *全国は2020年=100								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2018年	114.6	109.2	109.5	117.9	101.2	98.1	106.1	134.7	1,487.6	15.1	
2019年	111.6	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6	
2020年	100.0	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	97.2	83.9	98.2	95.8	110.6	104.6	142.8	1,584.1	-12.3	
2023年7月	103.5	91.3	84.2	84.1	100.2	95.7	103.1	112.8	150.4	3.5	44.8
8月	103.1	90.1	76.0	89.7	89.1	93.7	111.8	135.3	101.6	-42.5	42.5
9月	103.2	89.9	83.6	87.6	86.3	105.3	106.4	164.8	176.8	6.5	43.1
10月	104.4	90.3	77.4	95.6	88.6	103.8	100.6	149.7	106.5	5.9	42.4
11月	103.8	87.7	76.5	98.4	80.7	20.6	102.3	149.6	92.3	57.7	45.2
12月	105.0	75.0	68.7	78.8	73.8	31.5	96.9	148.5	143.9	225.0	43.3
2024年1月	98.0	76.3	75.9	82.2	78.5	21.5	83.9	164.4	107.7	65.4	41.1
2月	97.4	78.4	73.0	91.9	76.4	17.1	95.1	150.5	71.5	8.8	41.1
3月	101.7	71.7	64.1	79.5	72.4	18.0	81.6	151.3	164.9	-42.2	42.0
4月	100.8	83.5	66.8	87.2	82.1	21.0	88.7	142.4	180.4	-12.3	42.2
5月	104.4	85.0	76.7	94.1	76.4	19.1	110.0	152.7	196.1	20.3	42.1
6月	100.0	76.9	70.5	85.6	82.0	19.9	95.5	153.2	135.9	-12.5	41.2
7月	103.1	80.9	69.9	91.3	82.9	20.1	103.9	146.3	163.4	8.6	41.1
8月	99.7							139.5	37.2	43.0	

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2024年10月1日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2018年	1.61	1.34	17,355	12,970	19.6	18.1
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,977	14,777	14.8	16.8
2023年7月	1.30	1.12	16,145	14,444	14.1	15.4
8月	1.30	1.13	16,289	14,448	13.3	14.5
9月	1.29	1.12	16,315	14,597	15.4	17.0
10月	1.29	1.10	16,194	14,675	14.8	16.2
11月	1.27	1.10	16,123	14,712	14.9	50.9
12月	1.27	1.10	16,330	14,813	13.0	15.4
2024年1月	1.27	1.14	16,600	14,609	10.8	11.8
2月	1.26	1.18	17,285	14,689	14.1	18.3
3月	1.28	1.15	16,661	14,544	17.1	24.2
4月	1.26	1.14	16,393	14,375	16.5	19.3
5月	1.24	1.10	16,174	14,728	15.3	21.3
6月	1.23	1.13	16,519	14,643	14.5	17.7
7月	1.24	1.13	16,404	14,494	13.2	16.5
8月	1.23	1.14	16,473	14,387	12.6	13.7

(2024年10月1日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。